

【22_293技術系メルマガ】携帯トレーダーの戦い方

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

日々の生活・仕事と奮闘する傍らトレードをがんばる方が多いなかで、携帯片手にトレードしている人も多いでしょう。

かく言う僕も、トレード以外の仕事で車を運転している事もあるので

携帯アプリ仕様独特の、使い勝手の悪さは僕もよく理解しているつもりです。

だからといって、「自分はPCの前に着席できないから、その時間帯のトレードは諦めます」と言い切ってしまうのも勿体ない話です。

何も、「意地でも携帯でトレードなさい」というわけではなく

自分からわざわざ選択肢を狭める必要は無いよね、ということです。

例えば、自分が今一生懸命取り組んでいる『型』が

仕事時間中のロンドン初動にワークすることが多いと分かっているのであれば

それを携帯でチェックするルーティンさえあれば、トレードできるならそれも選択肢のひとつとしてあっても良いわけです。

(現に僕のサロン内でも、「トイレード」という単語が作られるほど、仕事の合間を上手く使ってトレードしている人もいます)

要は結局、トレードは『(継続的に)稼ぐ仕組みを作る技術』があって初めて成立するビジネスですから

自分が納得して一貫できるルール構築の手段として、『取えて時間帯を絞る』という答えもただしいし

『携帯を使って工夫する』という考え方も一方であるということですね。

さて、前置きが長くなりましたがここから本題です。

今回は、敢えて携帯でトレードする事を前提としたときに生じる問題と

その対応として最近僕が採用しているやり方をご紹介します。

┌
└─┬─ ある時間足に、『上位時間足のMA』を表示させる
└──┴──

実のところ、これは僕が最初に考えたアイデアではなく、多分やっている人は結構いるのではないかと思います。

僕のトレードは、短期足のセットアップ(=エントリートリガー)として

『M15/40-50MAとM5/100MAのタッチ』が連動する場所で待ち伏せするトレードが殆どです。

ですので、PCのように複数時間足を同時にチェックできる体制であれば気になりませんが
携帯アプリでは、1画面に1つの時間足しかチャートを表示出来ないのがネックとなります。

(仮に、分割表示できたとしても画面が小さすぎて見づらい問題も出てくる)

そこで、M5足に『120MAと150MAを表示する』ことで、実質的に『M15/40-50に相当するMA』を
M5足から切り替えることなくチェックできます。

▼僕の携帯のチャート表示だとこんな感じ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/221020.png

※2本の破線が120、150MA(M5足で表示すると、実質的なM15足の40、50MA)

厳密には、『M15足の40 / 50本分の平均値』と『M5足の120/150本分の平均値』では
MA先頭付近の平均値に多少違いが出てきますが、誤差の範囲と見て良いでしょう。

細かいひと手間の簡略化ではありますが、出先で限られた情報を最大限効率的に集めることは
いざという時に役立ったりするものです。

また、これはMA以外特別に設定が必要なインジケータを使っていないスタイルだからこそ取れる
選択肢である

という強みがあるとも言えますね。

これを読んで、必ず全員の役に立つとまでは残念ながら言い切れませんが

自分に合うかもと思った人は、是非やってみてくださいね。